

平戸市議会だより

とかいせん



写真提供：毎日新聞社

快拳!! 大島中学校がダンスで日本一

▲平成27年12月26・27日に東京で開催された「第3回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール」で、大島中学校の全校生徒16人で作るダンスチーム「Team大島16」が、中学生規定曲部門で、優勝に相当する文部科学大臣賞を受賞しました。

議員定数削減 20人→18人 議会・行財政改革を進める

第47号

平成28年2月1日発行
12月定例会報告

contents

12月定例会で審議された案件と結果	2
12月定例会 ここに注目	3
委員会報告!	
総務常任委員会	4
産業建設常任委員会	5
文教厚生常任委員会	6
決算特別委員会	7

市政を問う! 8名の議員が一般質問に立つ	
松尾 実議員、神田 全記議員	8
山田 能新議員、山崎 一洋議員	9
近藤 芳人議員、竹山 俊郎議員	10
田島 輝美議員、川上 茂次議員	11
トピックス!	12
平戸のチカラ	
ひびき	

平戸のチカラ

安満の里 春日講



このコーナーでは平戸を元気にするため各分野で活躍されている皆さんをご紹介します。
〔取材・議会広報特別委員会〕

●世界遺産を見据え、地域をおこしたい!!
市民と行政のパイプ役とは?

今回、安満の里春日講の活動について取材をさせていただきました。

安満の里春日講(以下、「春日講」という。)は、春日町をより良くしたいと願う有志が集まり、平成23年4月に発足しました。(講には「ある目的のために集まるグループ」という意味もあります。)

春日集落は、世界遺産候補『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』の構成資産「平戸の聖地と集落」で、一帯は平成22年に国の重要な文化的景観

にも選定されています。春日町の全世帯(19世帯)が構成メンバーとなっており、春日町を訪れる観光客の受け入れをはじめ、6月に行われる棚田などの草刈り、棚田ウォークや大手学習塾の体験学習の受け入れなどを行い、春日町の歴史、文化、景観などの魅力を発信しています。

また、ゴールデンウィーク中などは、春日町のおばあちゃんたちが作った団子を販売しており、観光客からとてもおもしろいと好評との事です。おばあちゃんたちも観光客に春日町の魅力を話せてうれし



▲春日講の皆さんへの取材の様子

いと喜んでいそうです。このほかにも、平戸市最高峰「安満岳」を水源とした春日川の清流によって育まれた棚田でとれた米を「春日の棚田米」として販売しています。

『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』が世界遺産となれば、これまでに以上春日町を訪れる観光客が増えることでしょう。春日町の魅力は棚田だけでなく、信仰の歴史や文化などです。

この魅力をこれからどのようにアピールしていくのか。また、増える観光客の受け入れをどうするのか、春日講を含めた皆さんが課題に感じているようです。

議会としても世界遺産登録を見据え、どのようなバックアップができるのか、行政と一緒に考えていきます。

始めました! 委員会のインターネット中継

平成27年12月定例会より委員会のインターネット中継(※生中継のみ)を始めました。

3月定例会(3月上旬開会予定)も委員会のインターネット中継を行いますので、ぜひご覧ください。

※本会議は録画映像(※平成19年9月定例会から)も見ることができます。平戸市議会インターネット議会中継画面の会議名・議員名から選ぶなどで検索してください。

【議会中継URL】 <http://www.hirado-city.stream.jfit.co.jp/>

ひびき

今年、例年になく暖かい新年の始まりとなった。昨年は、平戸市未来創造館、消防庁舎等の落成や、平戸市市制施行10周年を迎えた節目の年であった。

平戸市は昨年度ふるさと納税が日本一となり、本年度は既に25億円を越える寄附の申し込みを頂いている。今後は、全国の方々の好意を、いかに市民の皆さんに実感していただける使い道にするかが課題である。また、今年世界遺産登録の決定が待たれる中で、観光の振興、人口減少抑制対策での少子高齢化問題・雇用問題、産業振興、子育て支援、定住・移住の支援と早急に取り組むべき施策ばかりである。そのような中で、議会において議員定数を20人から18人に削減することが決まった。一部には、地域「市民」の声が市政に届かなくなるとの意見もあったが、人口減少抑制対策と財政改革を進める上で、議会「議員」が自ら身を切る覚悟の取り組みである。

市民の皆さんから期待される「市政と市民との架け橋」として奮起しなければならぬ。将来の市民の幸せな生活を見た取り組みの正念場の年である。

(松尾実副委員長)